

総合交通メールマガジン

第56号

平成25年3月7日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

総務課（総合交通体系グループ）

目次

Topics

□ ICT、ITS 特集

- ◆ 「高知県におけるITS」 (高知県 土木部 道路課)
- ◆ 「いわき湯本温泉まちあるきナビ」 (含「ハワイアンズナビ」)
および「いわき緊急時避難ナビ」について
(いわきユビキタス社会化推進協議会)
- ◆ 車いすに乗って冬の旭山でペンギンの散歩を楽しみたい
冬の旭山動物園安心マップづくり
(カムイ大雪バリアフリー推進協議会)
- ◆ 「ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(第9回)について
(ICT歩行者移動支援施策担当者 猪股課長補佐/園部主査)

最近の国の動き

- ◆ ー社会資本のメンテナンス等最近の話題をお伝えしますー

イベント紹介

- ◆ **【3月21日開催】** 八戸市にて、「地域生活交通再生ミッションナリー育成・活動事業」の活動報告会が行われます(一般社団法人 北海道開発技術センター)

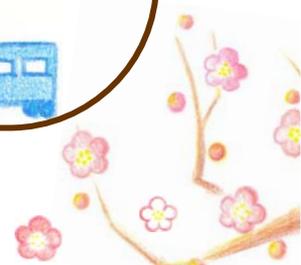
総合交通体系グループだより

- ◆ 総合交通体系グループ紹介 (第6回 木村課長補佐)
- ◆ 地域モビリティ確保の知恵袋2012～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～
いつでもご質問等対応します

Information

- ◆ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい!
- ◆ 地域の取り組み 及び イベント案内 募集!!
- ◆ ～受付窓口の変更がありましたらご連絡ください～

編集後記





Topics

□ ICT、ITS 特集

～ 地域の取り組み、実証実験の報告等ご紹介します ～

◆ 「高知県における ITS」

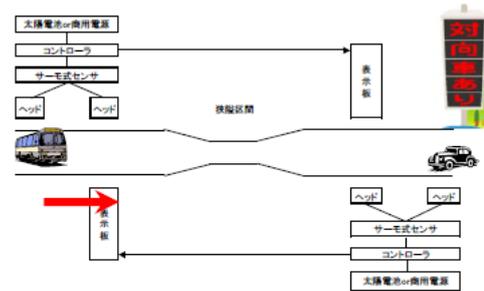
地域モビリティの確保と ITS (Intelligent Transport Systems : 高度道路交通システム)、バスロケーションシステムやデマンドシステム以外ではあまり「ピン」とこない方もいらっしゃるかと思います。

中山間地等にお住まいの皆様の「生活の足」を確保するためには「交通手段」の確保に加えて、実際に乗用車や大型車等が円滑に移動可能な「交通路」の環境整備も重要な要素です。情報処理技術を活用し、中山間地の狭小な交通路を、少しの工夫、投資でより円滑に走行可能な空間を形成する取り組みなどについてご紹介いたします。

《紹介記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1302kouchi.pdf>

(高知県 土木部 道路課)



本文より (情報処理技術の活用による交通環境改善の取り組み)

◆ 「いわき湯本温泉まちあるきナビ」(含「ハワイアンズナビ」) および「いわき緊急時避難ナビ」について

(いわきユビキタス社会化推進協議会)

いわき市は温泉、久之浜や勿来海岸などの海水浴、小名浜の水族館などにより福島県内屈指の観光エリアのひとつとして知られる中、東日本震災後は、地震・津波被害に加え、放射能被害と、それらから発した風評被害に苦しめられ、その打撃は現在までも続いているとのこと。そのいわき市における、地域の活性化の核となる観光の魅力向上につながるバリアフリーで観光まちあるきを楽しむことの出来る取り組み、復興作業の方や観光の方など市外からの来訪者の地震からの安全性を高める取り組み(「平成 24 年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」)をご紹介します。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1302iwaki.pdf>



本文より (いわき湯本と言えばこの風景)





◆車いすに乗って冬の旭山でペンギンの散歩を楽しみたい

冬の旭山動物園安心マップづくり (カムイ大雪バリアフリー推進協議会)

旭山動物園、数年前から「行動展示」を行う事で有名となり、その後全国の動物園で同じような動物の日常生活を見ることが出来る展示が増えて参りました。

その旭山動物園において進められている取り組み、来園される100人100様の方々にそれぞれ楽しんで頂ける様、行きたい所にご自身の備える対応力に応じたバリアを避けた活動を可能とするパーソナルバリアフリーを進める仕掛け(「平成24年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」)をご紹介します。



本文より
(旭山動物園の有名なイベント)

行動展示同様、こういった取り組みが先行的に行われることで、他の動物園においても同様の取り組みが広まることを期待しています。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1302asahi-yama.pdf>

◆「ICTを活用した歩行者の移動支援に関する勉強会」(第9回)について

(ICT歩行者移動支援施策担当者 猪股課長補佐/園部主査)

平成22年より国土交通大臣政務官主宰として進めております本勉強会も、今回で9回目となっております。第9回では、本メルマガでご紹介したような現地事業の取り組みについてご紹介するとともに、ICTを活用した歩行者移動支援システムに係るデータとプログラムをwikipedia等の様にオープンで作成していくことの重要性等について意見交換されました。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1302bennkyoukai.pdf>



最近の国の動き

()内は情報元の組織です

◆社会基盤関連 (総合政策局)

～「第5回社会資本メンテナンス戦略小委員会」の開催について～

以前もご紹介しましたが、老朽化する社会資本への対応を検討すべく標題の委員会が行われています。直近の第5回委員会では、各地方自治体へのアンケート結果が整理されております。地域の実情を把握出来る良い機会かと思えます、是非、ご覧下さい。

http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/sogo03_sg_000019.html





◆公共交通施策関連 (総合政策局)

～「地域公共交通支援センター」ホームページの開設について～

国土交通省において、出先機関である地方運輸局のネットワークを最大限に活用し、地域公共交通の確保・維持に係る全国の先進事例を一元的に、常に最新の情報を発信するためのホームページを開設しました。(HP より抜粋)

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000048.html



イベント等紹介

◆【3/21 開催】八戸市にて、「地域生活交通再生ミッションナリー育成・活動事業」の活動報告会が行われます (一般社団法人北海道開発技術センター)

青森県八戸市では、中心街の路線バス総合案内所「八戸中心街ターミナルモビリティセンター（モビセン）」の運営を始め、継続的かつ多様なバス利用促進策が展開されており、その活動成果の報告と合わせて、十勝バス（株）（北海道帯広市）の野村代表取締役社長をお招きして「路線バス事業 40 年ぶりの増収」の秘訣・活動内容をご講演頂くそうです。是非ご興味のある方はご参加下さい。

《詳しくはこちらのチラシをご覧ください！》(要登録、参加無料です)

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1302dec.pdf>

※本メルマガの趣旨の範囲内でしたら、どなたでも本イベント紹介スペースご利用頂けますので、何かございましたら、是非問い合わせ先までご連絡ください。



総合交通体系グループだより

◆総合交通体系グループ紹介

第6回 木村課長補佐

年度末差し迫る頃、本グループに異動して来ました、木村補佐のご紹介です。ちょっとしたセクシーショットもありますので、是非ご覧下さい。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1302shituinn.pdf>



今は懐かし、この列車に絡んだご出身です

◆地域のモビリティ確保の知恵袋 2012

～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～ いつでもご質問等対応します

《知恵袋 2012～災害時も考慮した「転ばぬ先の杖」～はこちらから↓》

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_tk_000037.html





Information

◆総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

◆地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当室では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】例えば、・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み（交通の再編等）・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでにご紹介したものを、今回グループだよりで整理しました、是非ご覧下さい。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html

◆受付窓口の変更がありましたらご連絡ください。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更をご連絡願います。なお、他部署でも楽しんで頂けるよう努めて参りますので、引き続きのご購読も歓迎いたします。（連絡先の追加でも結構です）

なお、変更内容については、右記連絡先までお願いします。 E-mail : soukou@mlit.go.jp

◆総合交通体系グループの所在

《地図はこちら→》 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1204itizu.pdf>





編集後記



前号に引き続き、第56号、少し遅くなりました。職務の都合で一週間ほど席を離れておりました。離れた先は、右の写真でピンと来た方はすごいですね。また整理出来ましたらご報告させていただきます。



本メルマガの発行日より4日で東日本大震災から2年が経過致します。私がこの職務に就いたのが、震災発生から3週間後。我が身では時間が経つのが早いと感じつつも、最近の新聞、テレビ報道でみる東北各地域において奮闘されている様子等から、一寸の時間も惜しむことなく復興に取り組まれている皆様に、どれほどお力添えをすることが出来るか自問自答です。そんな私の所属する国土交通省では、各部局において、復興に向けた各種取り組みが行われております。これまでもご紹介した部分がありますが、また新たな動き等ありましたら紹介させていただきます。

また、先月この編集後記でご紹介いたしました三陸鉄道につきまして、来月1日より北リアス線に引き続き、南リアス線の一部が運行開始されるとのこと（復旧工事の様子 <http://www.jrnt.go.jp/02Business/Construction/const-rias.html>）。被災後の三陸鉄道には一度伺っただけですが、非常に身近にうれしく感じています。是非、本メルマガ読者の皆様も、東北の復興の歩みを、遠隔地にいても報道等にふれても身近に感じて頂けるよう、一度東北に足を運んでいただき、現地の文化や食等に触れて頂けると幸いです。

最後になりますが、例年この時期、当部局の主宰する全国会議「総合的交通基盤整備連絡会議」の日時、場所等ご連絡しておりましたが、もう少しお待ち頂けますでしょうか。ご不明な点等ございましたら、以下お問い合わせ先までよろしくお願い致します。

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課 野津隆太（総合交通体系グループ）

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：sokou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/sokou/index.html>

